

報告第 7 号

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の平成27年度収支決算及び平成28年度事業計画を別紙のとおり提出する。

平成28年 6 月 6 日

調布市長 長 友 貴 樹

平成27年度決算報告書及び
平成28年度事業計画

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

目 次

平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1	概要	1
2	事業内容	8
(1)	展示事業	8
(2)	普及事業	8
(3)	資料収集・管理事業	13
(4)	資料整理・保存事業	14
(5)	閲覧サービス・情報公開事業	16
(6)	調査・研究事業	16
(7)	自主事業	17
(8)	施設管理運営事業	18
3	平成27年度調布市武者小路実篤記念館利用状況	19
	実篤記念館利用者数	19
4	役員・会議に関する事項	20
(1)	役員名簿（平成28年3月31日現在）	20
	ア 理事及び監事	20
	イ 評議員	20
(2)	会議の開催	20
	ア 理事会	20
	イ 評議員会	21
	平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支計算書	22
	平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館正味財産増減計算書	26
	平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館貸借対照表	29
	平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財産目録	30
	平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財務諸表に対する注記	31
	監査報告書	32

平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画

1	はじめに	33
2	基本方針	34
(1)	事業運営の基本方針	34
(2)	法人運営の基本方針	34
3	実施方針	35
(1)	事業の運営に関する業務	35
(2)	施設の運営に関する業務	36
(3)	施設の管理と整備に関する業務	36

4	平成28年度重点事業	37
5	事業内容	38
(1)	展示事業	38
(2)	普及事業	38
(3)	資料収集・管理事業	42
(4)	資料整理・保存事業	43
(5)	閲覧サービス・情報公開事業	44
(6)	調査・研究事業	45
(7)	自主事業	45
(8)	施設管理運営事業	46
	平成28年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会日程	48
	平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支予算書	50

平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1 概要

平成27年度は、調布市武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）が開館して30周年を迎え、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館（以下「財団」という。）が発足して3年目、指定管理者としての業務は2年目となりました。

調布市武者小路実篤記念館の設立理念に基づき、これまでの実績と信頼を活かしながら、市民が広く誇り得る文化の拠点として、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場となるように努め、更に良質で魅力のある事業を展開するとともに、より安定性及び継続性のある効率的な管理運営体制を構築するよう努めてまいりました。

財団では、平成27年度は次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を固めながら積極的に事業展開をしてまいりました。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年6回の展示事業、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大

子どもへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

5 調布市制施行60周年・開館30周年記念事業の展開

開館以来の事業を通して得られた作品・資料や情報、信頼等の財産を活用して、展覧会、普及事業等、事業全般にわたり様々な記念事業を展開します。

<組織・運営体制>

1 安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業を、継続性をもって実行します。

3 武者小路実篤研究を継続していくために、学芸員を中心とした人材育成を促進します。

4 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、良質な市民サービスを提供します。

5 ミュージアムアドバイザーを導入し、施設運営及び事業運営の向上を目指します。

実施した主な事業につきましては、以下のとおりです。

(1) 展示事業

展示事業は事業の中心であり、平成27年度は調布市制施行60周年・開館30周年記念として、内容を拡充して開催いたしました。

年2回の特別展について、春は、武者小路実篤生誕130年も併せて記念して、「一人の男～武者小路実篤の生涯～」を開催し、実篤がその時々在世間からどのような評価を得て来たのかに注目して実篤の人と業績を紹介しました。通常の企画展では、テーマごとに細分化して紹介しているのに対して、実篤の全体像を知ることが出来る展覧会としてご好評いただきました。

秋には、「我が家の実篤作品展」を二部制で開催し、第一部では実篤と交友のあった作家・画家の方々が所蔵していた作品、第二部では調布市内を中心に東京都内・近郊の一般の家庭でご所蔵の作品を借用して、作品にまつわるエピソードとともに展示しました。普段一般に公開されることのない珍しい作品を見られる機会となり、また実篤と所蔵者との交流や、所蔵者の作品への思いなどに触れられ、暖かみのある親しみを感じる展示と好評を得ました。

また、4回の企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくために多角的なテーマを設けました。

このうち、秋季展「僕の美術館～実篤コレクション名品展」では、通常、企画展は実篤記念館の収蔵品で構成しますが、開館30周年記念の一環として、東京都現代美術館と新しき村美術館から、実篤没後各館へ寄贈された愛蔵美術品と関連実篤作品を借用して展示しました。ロダンの彫刻やレンブラントのエッチング、岸田劉生や梅原龍三郎の作品など、質の高い美術作品鑑賞の機会となったと、高い評価をいただきました。

この他の企画展では、実篤記念館の収蔵品紹介に努めました。企画展「筆の向くまま 所蔵原稿名品展」では、創作の過程や作者の息づかいを感じられる自筆原稿の魅力を紹介し、春季展「新収蔵品展～河野通勢資料を中心に」では、平成26年度に寄贈された8,000点に及ぶ河野通勢の作品・資料のほか、調布市に住んでいた映画美術監督の木村威夫氏が所蔵していた木村莊八作品など、実篤作品だけでなく実篤と親交のあった画家たちの作品など幅広い収蔵品を紹介し、多くの利用者に実篤記念館の展示内容の幅広さや、豊富な収蔵品の魅力を伝えることができました。

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

調布市制施行60周年・開館30周年記念として、『映画「愛と死」上映とおはなし～栗原小巻さんをお迎えして』を開催しました。初めて本格的な映画上映を行い、主演の栗原小巻さんと他の映画化作品に出演した石濱朗さんに話をしていただき、会場のくすのきホールが満席になるほど、大変好評でした。

「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」は、近年は夏休み期間に行っていましたが、ボランティアの協力を得て、ゴールデンウィーク中にも開催し、多くの方が参加されました。

展示解説は、これまで展覧会会期中に一回、土・日に開催しておりましたが、平成27年度から平日にも一回開催することとし、高齢のお客様などは、平日の方が利用しやすいと、好評をいただいております。

夏休み自由研究サポートは、平成26年度から始めた夏休み期間中の毎日実施が定着しております。

地域との連携として、東部公民館と共催しました講座は、実篤記念館利用者だけでなく公民館利用者に実篤を知っていただく機会となり、市のバスを利用した見学会も好評でした。

このほか、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として幅広い世代に対し良質な事業を提供し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場として、魅力ある事業を実施しました。

イ 学校教育との連携事業

市内小・中学校の児童・生徒に夏休みの子ども向け事業案内チラシの全員配布を引き続き行い、学校へ実篤に関する資料・情報を提供するとともに、職場体験の受入れ、近隣中学校の卒業を控えた生徒を対象とした講座と見学会を行いました。

新たに近隣中学校から中学生ボランティアの受入れを行い、夏休み期間の「実篤に挑戦」と「実篤マンホールで拓本を体験しよう！」の運営に参加してもらい、やりがいを感じたとの感想が寄せられ、記念館ボランティアや参加者からも好評でした。

また、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、子どもたちに多様な体験を提供し、感性を磨き、自身で考える力、豊かな心を育むことができる事業を展開するとともに、次世代利用者の育成と利用の拡大を図りました。

ウ ボランティア事業

ボランティア活動は、三つのグループで活動を行っております。

ガイドグループによるボランティアガイドはすっかり定着し、利用者も多く、実施日に合わせて来館する方も増え、利用者・ボランティア双方とも満足度の高い活動となっています。

普及事業グループは、これまで記念館が実施する事業のサポートを行ってきましたが、さらに積極的に活動を進め、「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」は平成27年度からボランティアが主体となって運営し、また新たに独自の活動として朗読に取組み、後半期から試験的に毎月一回「ボランティア朗読 耳から親しむ実篤作品」を行いました。

環境整備グループは、中庭の花の手入れのほか、資料の保存環境維持のための防虫対策、旧邸や屋外展示物の清掃など、維持管理に貢献いただいています。

エ 友の会事業

友の会は実篤記念館と来館者を結ぶものであり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、交流会も実施しました。

オ 広報事業

実篤記念館の事業活動と、実篤記念館と実篤公園のポテンシャルをより多くの方々に知っていただくために、広報に積極的に取組みました。報道機関への情報提供を積極的に行い、現代の情報伝達状況に合った速報性のある発信として調布市ツイッターに最新情報をこまめに提供しました。調布市制施行60周年・開館30周年記念事業や、ヒカリモ、ゴッホの“芦屋の向日葵”に関して、新聞やテレビで取上げられたことにより、実篤記念館を広く周知し、利用者増につなげることができました。

「ぐるっとパス事業」では、＜東京・ミュージアムぐるっとパス2015＞事業への参加を通して、実篤記念館の活動を周知し、広報の充実に努めました。

「印刷物編集・刊行事業」では、広く武者小路実篤への理解を深めるために特別展パンフレット、小・中学生向けの解説シート、記念館事業を紹介する館報、また開館30周年記念誌などの刊行物を編集・刊行しました。

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集事業

実篤記念館事業の一層の充実を図るためには収蔵品の充実は重要であり、美術作品、原稿、書簡類、図書などの関係資料の収集に努めております。財団では引き続き各種資料情報を集め、寄贈・寄託等の手続きを行うとともに、図書・雑誌等の購入業務を行いました。

平成27年度は、実篤の京都での定宿の経営者のご遺族からゆかりの実篤作品と関連資料の寄贈、新しき村の古くからの会員の旧蔵作品の寄託、また特別展「我が家の実篤作品展」の協力者から作品が寄贈・寄託されました。

いずれも、実篤記念館の永年の実績から信頼を得た結果として、申し出をいただくことが出来たものです。

イ 資料管理事業

指定管理業務として、引き続き所蔵作品の貸出にかかわる申請・承認や貸出作業、特別撮影への対応や、貴重な作品のために動産保険の加入手続き等を担いました。

(4) 資料整理・保存事業

収集した作品・資料を速やかに整理し、良好な状態で保存し、貴重な作品・資料を後世に伝えるよう努めました。収蔵品データベースは、新収蔵品と平成26年度に寄贈された河野通勢資料のうち未登録資料のデータ入力や、データと資料の照合作業を進め、情報の充実を図りました。

自筆原稿の劣化を防ぐために複製を作成し、また状態の良くない作品・資料の修復などを行い、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図りました。

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

閲覧室での開架図書を中心とする一般閲覧業務やレファレンス業務では、利用者のニーズをくみ上げる丁寧な対応を心がけ、資料の活用促進を図り、また展覧会や事業にあわせて図書紹介をするなど、資料利用のフロントとしてサービスの充実に努めました。

また、開架図書や貴重な自筆作品に対する特別閲覧やレファレンス業務では、所蔵資料と実篤及び河野通勢に関する専門的な知識と情報を活用し、高度な質問や閲覧にも対応しました。

イ 情報公開事業

コンテンツや情報の充実に努め、より多くの方々に収蔵品情報、各種事業、実篤関連情報、事業記録などを知っていただくために、情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）の運用を引き続き進めました。

(6) 調査・研究事業

特別展及び企画展に関連する実篤記念館収蔵資料及び個人・他館所蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で蓄積して来た情報を活用し、他の文学館・美術館や研究機関の協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

調布市制施行60周年・開館30周年記念として開催した「我が家の実篤作品展」のため、実篤作品の所蔵情報提供を広く呼びかけ、また全国の美術館・博物館・文学館に所蔵状況調査を行い、その成果を展示に反映しました。

また、平成26年度に寄贈された河野通勢資料を中心に、書簡61通を翻刻するなど、実篤記念館事業の根幹を支える調査・研究を実施しました。

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

ミュージアムグッズの販売を通して、広く実篤作品の魅力や実篤記念館の活動の周知と認知度を高め、自主財源を増やすとともに、特別会計を設けて会計の透明化を図りました。その収益は、自主事業の充実や魅力あるミュージアムグッズ作りにあて、普及事業の更なる充実のため活用を図りました。

平成27年度は開館30周年を記念してオリジナルフレーム切手を日本郵便と連携して製作し、実篤記念館、市内及び多摩地区をはじめとした郵便局で販売し、実篤や実篤記念館を広く周知する機会となりました。

また、バレンタインシーズンには恒例となったオリジナル限定チョコレートを製作し、商品の包装では、施設通所者の作業体験を行うなどの地域の社会福祉施設との連携も試みました。さらに、館外でも市役所売店、仙川商店街、鎌倉文学館で引き続き販売を展開するなど、多くの方々にご好評を得ました。

新グッズとして実篤の画をデザインした手ぬぐい、ハンカチ、ジグソーパズルを製作し、ミュージアムグッズの商品内容の種類を増やして、来館者の関心を高めました。

イ 自主事業

自主事業として、10月に開館30周年式典を桐朋学園大学音楽学部や調布市茶道連盟の協力を得て開催し、日頃より実篤記念館に協力をいただいている方々とともに30周年を祝いました。2月には地域連携として桐朋学園大学音楽学部による「観梅のつどいコンサート」、3月に朗読ワークショップを開催して、普及事業をサポートしました。

また、旭川市・三浦綾子記念文学館の全国文学館交流展「武者小路実篤の世界」開催にあたり、展示企画や解説作成を担い、広く実篤の業績を伝える機会としました。さらに、二次資料の写真資料等の貸出も対応しました。

自主財源を確保するために、引き続き駐車場に飲料の自動販売機を設置し、その収益は一般会計事業に活用し、また、記念館隣接道路に設置された案内掲示板の広告料収入等を得て自主事業の充実に役立てました。

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

指定管理業務としての実篤記念館施設管理運営では、施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、安全・快適・清潔な施設の維持管理に努めました。開館から30年を経過し、施設や設備の老朽化による不具合が多くなり、展示ケースの照明器具や門扉をはじめ、必要な修繕を実施しました。

利用者からの要望の高い案内サインについては、調布市公共サイン管理台帳を作成し、さらに、公共サイン整備ガイドラインに基づき改修、増設に取組んだほか、記念館入口側道路に

面して事業案内の掲示板を設置しました。

貴重な所蔵作品や資料を、永く後世に伝えてゆくために、平成27年度は隔年で実施している収蔵庫の燻蒸作業を行い、作品・資料の良好な状態を確保するとともに、日常的に収蔵環境の状態を把握し、保全に努めました。

年間を通して、展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取入れ、満足度の高い施設としての維持管理及びサービス提供に努めました。

イ 実篤公園日常管理

市の緑と公園課より受託した実篤公園の日常管理は2年目となります。実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然が残り、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ施設です。安心、安全に公園を利用できるように、公開に関する業務のほか、清掃や警備など公園と旧実篤邸の施設の日常管理を行いました。また、公園の樹木や園路、旧実篤邸の建物の状況を把握し、必要に応じて緑と公園課と協力して日常管理に努めました。

(9) 平成27年度の総括

平成27年度は市制施行60周年、実篤記念館開館30周年を迎え、1年を通して様々な記念事業を中心に事業展開しました。また、財団が指定管理者として2年目となり、魅力ある事業展開と施設の機能を十分に活かしながら、効率的・効果的な運営を進めるとともに、実篤公園の日常管理業務も受託し、記念館と実篤公園を一体的に管理運営することで、利用者サービスの向上を図りました。

開館30周年記念事業では、2回の記念特別展と関連事業、『映画「愛と死」上映とおはなし～栗原小巻さんをお迎えして』及び記念式典の開催、記念オリジナルフレーム切手の販売、記念誌の発行など、30年にわたり蓄積された実篤記念館の作品・資料、人、情報の有形無形の財産を活用して展開しました。これらの記念事業を通して、より多くの方々に実篤や実篤記念館の事業を広く周知することができ、平成27年度は記念館の開館以来、実篤公園を含めて年間の利用者数が過去最多の記録となりました。

事業全般にわたり「敷居は低く（気軽に参加）、間口は広く（幅広いジャンルからのアプローチ）、奥行きは深く（専門的な内容にも対応）」を指針として、展示・普及事業を中心に展開してまいりました。平成27年度は、記念特別展や企画展では質の高い美術作品群の展示や企画力で充実した内容の展覧会を提供したことで、利用者数を伸ばしました。また、普及事業では好評の「実篤に挑戦！」を春にも開催したほか、引き続き夏休み期間の自由研究サポートが好評で、子どもから高齢者まで幅広い年代層に実篤や記念館が身近に感じられる魅力ある事業となり、リピーターも多く、利用者数が大幅に伸びた要因であったと考えられます。

さらに、桐朋学園大学音楽学部によるコンサート、東部公民館との共催講座、東部地域の市関連8施設のスタンプラリー、地元で愛される市内実篤作品見学ツアーなど、地域と連携した事業も積極的に取組ました。

また、記念館事業や実篤公園についてプレスリリースや市のツイッターへの情報提供と積極的な広報活動により、30周年事業などが、多くの報道機関や企業誌で取上げられ、記念館の周知により、利用者増につながりました。今後も利用者ニーズを敏感に取入れながら、事業の広報活動に努め、より多くの方に知っていただく機会を増やし、事業活動の更なる充実に努めてまいり

ます。

施設の管理運営では、隔年で実施する収蔵庫の燻蒸を実施したのをはじめ、開館から30年が経過し、施設や設備の劣化や老朽化による不具合が多く発生しており、緊急時の対応とともに、市との緊密な連携を図ることで芸術文化施設として安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理に努めました。また、利用者の満足度を高めるために、ミュージアムアドバイザーから施設や事業運営について提案をいただき、これらは今後の記念館運営を展開する上で役立ててまいります。

人材育成では専門性を高めるために、若手の職員が国や博物館・文化財に関わる公益財団等で実施される研修会を利用し、文化財IPM（総合的有害生物管理）、美術鑑賞教育、修復技術講習、文化施設の多言語対応、著作権等について、博物館施設の職員としての今日的な課題や動向、技術の習得に努めました。また、引き続き、総合的な力を身に付けるため展示・普及事業を中心に担当することで、ベテラン職員の指導を受けながら知識や展示、表現方法の技術の継承も行い、学芸員の質の向上を図りました。

2 事業内容

(1) 展示事業

事業名	実施日	入場者	備考
春季展「野菜の美」	平成27年3月7日 ～4月12日	大人227人, 子ども23人 計250人	11日 (4月分のみ)
調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館 開館30周年・武者小路実篤生誕130周年記念 春の特別展「一人の男～武者小路実篤の生涯～」	平成27年4月25日 ～6月14日	大人2,004人, 子ども99人 計2,103人	44日
夏休み企画「武者小路実篤入門」	平成27年7月4日 ～8月30日	大人1,299人, 子ども343人 計1,642人	50日
秋季展「僕の小さな美術館～実篤コレクション 名品展」	平成27年9月5日 ～10月18日	大人1,351人, 子ども104人 計1,455人	38日
調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館 開館30周年記念 特別展「我が家の実篤作品展」第一部	平成27年10月24日 ～12月6日	大人1,303人, 子ども82人 計1,385人	38日
調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館 開館30周年記念 特別展「我が家の実篤作品展」第二部	平成27年12月12日 ～平成28年1月24日	大人804人, 子ども147人 計951人	32日
企画展「筆の向くまま 所蔵原稿名品展」	平成28年1月30日 ～2月28日	大人886人, 子ども43人 計929人	26日
春季展「新収蔵品展～河野通勢資料を中心に」	平成28年3月5日 ～4月17日	大人 563人, 子ども142人 計705人	24日 (3月分のみ)

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

事業名	講師	開催日	会場	参加者(人)
展示解説「野菜の美」	財団職員	平成27年4月5日	実篤記念館	8
春の自然観察会	富田 広	平成27年4月11日	実篤公園と周辺緑地	16
「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」	ボランティア ・財団職員	平成27年5月5日 ・6日	実篤記念館休憩コーナー	53
ガイダンス「実篤記念館のボランティアとは」	財団職員	平成27年5月14日	実篤記念館	7
展示解説 「一人の男～武者小路実篤の生涯～」	財団職員	平成27年5月17日 ・6月5日	実篤記念館	22

講演会「武者小路実篤「真理先生」を読む」	米山禎一	平成27年5月24日	調布市文化会館たづくり 601・602会議室	28
ワンコイン講座「武者小路実篤入門」	財団職員	平成27年5月28日	実篤記念館	5
ワンコイン講座「実篤記念館を知る ～活動とバックヤードツアー～」	財団職員	平成27年6月11日	実篤記念館閲覧室・地下収蔵庫・旧実篤邸	6
作ってみよう！梅ジャム (2回開催)	財団職員	平成27年6月13日 ・14日	実篤記念館 東部公民館	35
展示解説「武者小路実篤入門」	財団職員	平成27年7月12日	実篤記念館	13
夏休み自由研究サポート(モバイル・ぬりえ・調べ学習・拓本・紙芝居・バッタ・パズル)	財団職員	平成27年7月23日 ～8月23日	実篤記念館	247
「作ってみよう！私だけの本」 (全3回)	田尾明敏 岡野暢夫	平成27年8月1日 ・2日・6日	実篤記念館 東部公民館	15
「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」(夏)	ボランティア ・財団職員	平成27年8月14日 ・15日	実篤記念館 休憩コーナー	68
《特別編》「実篤に挑戦！～うちに筆と墨で絵をかこう～」(2回実施)	菱沼陽士女 (ひしぬま ひとめ)	平成27年8月16日	実篤記念館 休憩コーナー	32
読書講座「武者小路実篤と芥川龍之介」	瀧田 浩	平成27年9月12日	実篤記念館	11
調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館開館30周年・武者小路実篤生誕130周年記念 映画「愛と死」上映とおはなし～栗原小巻さんをお迎えして	栗原小巻 石濱 朗 寺脇 研	平成27年9月15日	たづくりくすのきホール	520
東部公民館・実篤記念館共催 「地域の芸術家 実篤を知ろう」 第1回	財団職員	平成27年9月17日	東部公民館	26
展示解説「僕の美術館～実篤コレクション名品展」	財団職員	平成27年9月27日	実篤記念館	15
東部公民館・実篤記念館共催 「地域の芸術家 実篤を知ろう」 第2回	財団職員	平成27年10月2日	新しき村	35
秋の自然観察会	富田 広	平成27年10月4日	実篤公園と周辺緑地	9
美術講座「実篤が愛した美術」	財団職員	平成27年10月15日	実篤記念館	8

調布市制施行60周年記念 調布市東部地域8施設合同企画 「とーぶフェスティバル2015 スタンプラリー」		平成27年10月13日 ～12月6日	実篤記念館, 東部 公民館, 東部保育 園, 東部児童館, 図 書館若葉分館, 仙 川保育園, せんが わ劇場, 地域包括 支援センター仙川	355
ギャラリートーク「芸術家たちに 愛された実篤作品」	財団職員	平成27年11月8日	実篤記念館	6
文学講座「武者小路実篤の原稿用 紙から単行本まで-童話劇「かちか ち山」を中心として-」	寺澤浩樹	平成27年11月15日	実篤記念館	6
調布市内実篤作品見学ツアー	財団職員	平成27年11月19日	滝坂小学校・仙 川商店街・調布 銀座会館	11
展示解説「我が家の実篤作品展」 第二部	財団職員	平成27年12月18日 ・平成28年1月16日	実篤記念館	15
親子講座「作ってみよう！クリス マスリース」	松田研二	平成27年12月20日	実篤記念館	16
「製本講座」中級編 第1回	岡野暢夫	平成28年1月21日	東部公民館	9
「製本講座」中級編 第2回	岡野暢夫	平成28年2月4日	東部公民館	10
展示解説「筆の向くまま 所蔵原 稿名品展」	財団職員	平成28年2月13日 ・19日	実篤記念館	29
展示解説「新収蔵品展～河野通勢 資料を中心に」	財団職員	平成28年3月19日	実篤記念館	5
団体解説（予約制）	財団職員	平成27年4月～ 平成28年3月	実篤記念館	31回 539人

イ 学校教育との連携事業

(ア) 学校教育

事業名	開催日	会場	連携・協力団体	参加者(人)
公園散策	平成27年4月2日	実篤公園	桐朋女子剣道部	16
公園散策	平成27年4月22日	実篤公園	桐朋女子高等学校音楽科	16
公園散策	平成27年5月8日	実篤公園	桐朋女子高等学校音楽科	35
公園写生	平成27年6月5日 ・10日・16日	実篤公園	調布市立若葉小学校5年	100
公園散策	平成27年6月10日	実篤公園	桐朋学園(大学)	20
公園内調べ学習	平成27年7月7日	実篤公園	調布市立若葉小学校3年	14
公園散策	平成27年7月12日	実篤記念館	首都大学東京	20

夏休み行事案内チラシ配布			市立小中学校 28 校全生徒, 市内私立小中学全 5 校・都立高等学校全 3 校に各 100 枚	
実篤公園写生作品展示	平成27年8月4日 ～30日	実篤記念館	調布市立若葉小学校5年	15 (15点)
実篤公園写生作品展示見学	平成27年8月4日 ～30日	実篤記念館	調布市立若葉小学校	11
実篤に挑戦 (ボランティア)	平成27年8月14日	実篤記念館	調布市立第四中学校	3
自由研究サポート (ボランティア)	平成27年8月18日	実篤記念館	調布市立第四中学校	3
公園見学	平成27年9月3日 ・8日	実篤公園	調布市立若葉小学校1年	107
調べ学習	平成27年9月18日	実篤記念館	調布市立第七中学校	5
調べ学習	平成27年11月27日	実篤記念館	調布市立若葉小学校3年	12
展覧会见学	平成28年1月19日 ～20日	実篤記念館	調布市立若葉小学校4年	93
記念館見学・公園散策	平成28年1月22日	実篤記念館	桐朋女子高等学校	20
公園散策	平成28年3月2日	実篤公園	桐朋女子高等学校2年	35
卒業年次生のための 武者小路実篤講座・見学	平成28年3月9日	実篤記念館 ・実篤公園	調布市立第四中学校3年	102

(イ) 実習生受入

事業名	実施期間	場所	参加者(人)
博物館実習 (帝京科学大学, 聖心女子大学)	平成27年7月31日～8月7日 (7日間)	実篤記念館	2
中学校教員社会体験研修 (初任者) (第四中学校)	平成27年7月31日・8月4日・5日 ・6日 (4日間・6単位)	実篤記念館	1
中学校教員社会体験研修 (10年経験者) (第四中学校)	平成27年8月11日・15日・16日 (3日間・6単位)	実篤記念館	1
博物館見学実習 (武蔵大学学芸員課程)	平成27年10月10日	実篤記念館	21

(ウ) 講師派遣

事業名	講師	開催日	会場	参加者(人)
三浦綾子記念文学館交流展「武者小路実篤の世界」展示解説と講演会「武者小路実篤を知っていますか？」	財団職員	平成27年7月6日	三浦綾子記念文学館	71
多摩らいふ倶楽部 「調布市内の生活にとけ込んだ武者小	財団職員	平成28年3月31日	滝坂小学校, 実篤記念館・公	20

路実篤の作品を巡る		園, 仙川商店街
-----------	--	----------

ウ ボランティア事業

ボランティア登録者 34人 (平成28年3月31日現在)

* 4月29人, 6月新規登録3人, 7月新規登録2人

活動内容	活動日数	活動者	利用者
環境整備グループ (植物手入れ, 旧邸・館内防虫対策, 開架 図書整備, 屋外展示物・掲示板等の清掃)	26日	延べ162人	
普及事業グループ (事業補助・朗読)	31日	延べ133人	
ガイドグループ (ボランティアガイド)	42日	延べ129人	308組737人
その他 (連絡会・資料整理・総会)	32日	延べ160人	

エ 友の会事業

平成27年度友の会会員数67人 (賛助会員: 6人, 一般会員61人)

事業名	内容	発行日・開催日	会場	参加者
友の会ニュース発行	事業や実篤関連情報を提供	年6回 (隔月発行)		
観梅のつどい 第二部 ミニ講座「仙川に残る実 篤の思い出」, 懇談会	講師ほか: 財団職員・ボラ ンティア	平成28年2月28日	東部公民館	17人

オ 広報事業

(ア) 広報資料の作成・配布

事業内容	対象	件数
調布市広報課提出 (市報原稿, 市ツイッター)	一般	125件
広報リリース作成, 情報提供	新聞社, テレビ局, インター ネット情報サイト	110件
取材対応	新聞社, テレビ局, 出版社, インターネット情報サイト	112件
事業広報用簡易ポスター作成, 掲示	一般	58件
事業広報用簡易チラシ作成, 配布	一般	15件
調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館開館30周年・武者小路 実篤生誕130周年記念 映画「愛と死」上映とおはなし〜栗原小巻 さんをお迎えして 広報チラシ作成・配布	一般	1件
調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館開館30周年記念 特別展「我が家の実篤作品展」ポスター・チラシ作成, 掲示, 配布	一般	1件
春の特別展「偉人に学ぶ実篤の生き方 伝記ものの世界」ポスタ ー・チラシ作成	一般	1件

(イ) 印刷物編集・刊行事業

資料名	種別	対象	発行	部数	備考
特別展「一人の男～武者小路実篤の生涯～」パンフレット	図録	一般	平成27年4月	1,000部	有償頒布 @400円
解説シート「もっと知りたい 武者小路実篤」No. 49～51	解説シート	一般 子ども	平成27年7月	各5,000部	無料配布
館報「美愛眞」第29号	館報	一般	平成27年9月	3,000部	無料配布
特別展「我が家の実篤作品展」パンフレット	図録	一般	平成27年10月	1,000部	有償頒布 @510円
「調布市武者小路実篤記念館 30年のあゆみ」	記念誌	一般	平成27年10月	500部	無料配布
平成28年度展示案内	展示日程	一般	平成28年3月	20,000部	無料配布
館報「美愛眞」第30号	館報	一般	平成28年3月	3,000部	無料配布

(ウ) ホームページ

活動内容	対象	件数等
ホームページ(毎月更新・臨時更新)	一般	14回
～事業告知, 所蔵品データベース, キッズコーナー, 資料データ, 財団情報公開等～		年間アクセス数 2,120,987件

(エ) ぐるっとパス事業

事業名	内容	件数等
ぐるっとパス2015広報	ぐるっとパス2015ポスター・チラシへの情報の提供と, 参加館や公共交通機関等で掲示・配布	年間3件
	ぐるっとパスブログ掲載情報提供	毎月1回
	新聞, 雑誌, テレビ, WEB等での掲載	年間43件
ぐるっとパス2015利用者	ぐるっとパス2015の利用者数	766人
ぐるっとパス2015販売数	ぐるっとパス2015の窓口販売数	26件
ぐるっとパス2015引換え数	ぐるっとパス2015の窓口引換え数	5件

(オ) 視察

視察者	日	目的
三鷹市生活環境部 4名	平成28年1月19日	実篤記念館収蔵環境視察

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集

資料区分	寄贈 (点)	購入 (点)	寄託 (点)	合計 (点)
美術品	15	0	10	25
図書・雑誌	151	132	0	283
関連作品・資料	6	50	0	56
原稿	0	0	0	0

書簡	4	0	0	4
写真	0	4 (購入1, 複写3)	0	4
映像資料	0	1 (制作)	0	1
その他資料	7	0	0	7
(総計)	183	187	10	380

※平成28年3月31日現在の収蔵品点数 60,524点

イ 資料管理

種別	件数	点数	主な利用内容	期間
作品・資料貸出	3件	149点	三浦綾子記念文学館全国文学館交流展「武者小路実篤の世界」 貸出複製美術品等計 145 点	平成27年6月18日～ 11月19日 (入館者8,081人)
			台東区立一葉記念館 「たけくらべ」発表120 年記念特別展「樋口一葉「たけくらべ」の世 界」 貸出資料(雑誌) 2点	平成27年9月16日～ 平成28年1月14日
			真鶴町立中川一政美術館小テーマ展「中川一 政と白樺 武者小路実篤とともに」 貸出美術品2点	平成27年10月14日～ 12月20日
写真資料貸出	29件	45点	月刊『目の眼』 岸田劉生肖像写真, TBSテレ ビ「Nスタ」 実篤肖像写真, 朝日新聞 夏目 漱石「禅堂風景」, 若葉町自治会 「秋祭」 手ぬぐい, ドイツ・ボン大学 ハラルド・マ イヤー教授「近代文学史としての日本文学館 ガイド」 実篤肖像写真, 我孫子市教育委員 会(小中学校) 補助教材「ふるさと我孫子の 先人たち」 写真, 直木孝次郎『武者小路実 篤とその世界』カバー 絵画, ほか	
特別撮影	6件	7点	台東区立一葉記念館 雑誌, 都留文科大学学 生(大学課題) 図書2点(4カット) ほか	

(4) 資料整理・保存事業

ア 整理・保存

作業区分	内容	作業件数	備考
温湿度管理	温湿度計チェック(数値確認)	毎日	地下書庫1台分
	温湿度計データ吸い上げ(展示 替え時)	8回	展示室ほか6台分

加湿機	加湿機清掃	9回	5台
除湿機タンク排水	除湿機タンク排水	毎日	展示室・フィルム収蔵庫 除湿機6台
ケース清掃	クロス拭き	毎日	
ケース清掃用クロス洗濯	クロス洗濯	毎週1回	46回
図書・逐次刊行物資料現物確認	データベースと資料現物の照合(現物へデータプリントのスリップ挟み込み)	18,502件	
写真整理	特別展2回, 新収蔵作品・資料, 河野通勢素描・書簡	292件	
資料撮影	特別展2回, 新収蔵作品・資料1回, 河野通勢素描・書簡2回	205件	
他館図録の除籍作業	他館図録の除籍作業	440件	
他館図録(美術館)配架整理	他館図録(美術館)配架	1000件	
防虫シート交換	防虫シート交換	1回	4件
美術品保存作業	河野通勢挿絵保存用マット作成	25点	
美術品保存作業	美術品用中性紙保存箱作成	21点	
図書保存作業	図書用中性紙保存箱作成	135点	

イ 所蔵作品・資料等の修復,複製制作等

作業区分	内容	作業件数	備考
複製	武者小路実篤「一人の男」原稿 第125章中間部1枚	原稿1件	
修復	所蔵作品修復(武者小路実篤「和楽」「バラ」,佐藤春夫「短歌」)	書画3点	
修復	陶器(紅紫釉水瓶)修復	陶器1点	

ウ 収蔵品データベースの充実

作業区分	内容	作業件数	備考
収蔵品データベース データ整備	収蔵品データベース (データの追加,修正作業)	資料404件 (新規299件, 遡及入力39件, 修正65件, 重複削除1件)	
収蔵品データベース改修	収蔵品データベース項目改修・データ修正	18,190件	
収蔵品データベース改修	収蔵品データベース文字化け対策	一括	
収蔵品データベース登録件数	平成28年3月末データベース登録件数	39,121件	
収蔵品データベース利用件数	平成28年度データベース利用件数	1,390,547件	

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

(ア) 一般閲覧

月	開室日数	利用者数 (人)			レファレンス受付件数 (件)		
		閲覧室利用者	情報提供システム	収蔵品検索システム	カウンター受付	電話, Eメール等受付	小計
4月	23	204	81	10	75	10	85
5月	23	583	230	25	119	19	138
6月	13	276	128	16	93	28	121
7月	22	246	96	7	62	10	72
8月	21	349	203	17	109	8	117
9月	23	432	174	12	117	16	133
10月	22	388	145	13	107	13	120
11月	20	307	148	15	108	15	123
12月	21	246	112	6	70	13	83
1月	21	268	97	2	97	14	111
2月	20	284	112	6	115	7	122
3月	22	327	146	18	120	15	135
計	251	3,910	1,672	147	1,192	168	1,360
前年度	260	4,100	1,784	184	1,110	198	1,308

(イ) 特別閲覧

閲覧件数	調査目的	日時	内容
2件 (3回)	福岡市美術館 特別展「物・語一近代日本の静物画」調査	平成27年7月25日	河野通勢油彩画「梨のある静物」「手と葡萄」, 河野通勢旧蔵洋書
	和歌山県立近代美術館ほか 特別展「動き出す! 絵画」調査	平成27年9月30日・10月7日	河野通勢油彩画13点, 河野通勢旧蔵書・複製画等

イ 情報公開事業

事業区分	事業内容	実施時期
情報提供システムの運用	コンテンツの充実, 機器の保守管理, 運用促進	随時

(6) 調査・研究事業

調査名	調査内容	調査場所	件数
全国文学館・美術館・博物館 武者小路実篤作品所蔵調査	調査票発送及びメール送信 272件		回答190件 (所蔵あり50件 所蔵なし140件)

個人所蔵武者小路実篤作品情報募集	窓口, 郵送, メール受付		7件
新しき村機関誌・関連雑誌目次検索用人名項目追加		実篤記念館	93年間分
秋季展「僕の小美術館展」のための借用作品調査	東京都現代美術館所蔵旧武者小路実篤コレクション調査	東京都現代美術館	絵画・彫刻9点
特別展「我が家の実篤作品展」のための資料調査	実篤記念館・調布市立図書館・北海道文学館・日本近代文学館・神奈川近代文学館・日本民藝館・新宿歴史博物館・個人所蔵資料調査		書画・原稿35点 図書・雑誌15点
特別展「我が家の実篤作品展」のための資料照会	美術館・文学館等15館・個人1件・文学者等遺族7件 各所蔵資料照会		84件
企画展「筆の向くまま 所蔵原稿名品展」のための資料調査	実篤記念館所蔵原稿・雑誌 調査	実篤記念館	原稿 139件 雑誌 19件
平成28年度春の特別展のための資料調査	実篤記念館・国立国会図書館・神奈川近代文学館・日本近代文学館・さいたま文学館・三鷹市役所所蔵資料調査	国立国会図書館・神奈川近代文学館・日本近代文学館・さいたま文学館・三鷹市役所・実篤記念館	846件
平成28年度春の特別展のための資料照会	他館・出版社所蔵確認		10件
春季展「新収蔵品展」のための資料調査	河野通勢資料（挿絵原画等）	実篤記念館	挿絵原画 106件
姉妹都市交流展のための事前調査	移動展会場確認等 平成28年1月12日～13日	木島平村農村交流館 ほか	
書簡翻刻	武者小路実篤宛・河野通勢・河野通勢宛 書簡翻刻	実篤記念館	61件

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

事業内容	制作時期	製作数	備考
実篤手ぬぐい (2種) 新規製作	平成27年4月	計400枚	
実篤手ぬぐいハンカチ (2種) 新規製作	平成27年4月	計200枚	
開館30周年記念オリジナルフレーム切手 新規製作	平成27年7月	750部	日本郵便との連携事業 製作合計2,000部

ジグソーパズル（2種）新規製作	平成27年10月	計100個	
風呂敷	平成27年10月	180枚	
実篤手ぬぐい（1種）	平成27年10月	670枚	
2016年版限定チョコレート（1種）新規製作	平成28年1月	3,000個	

イ 広告料の確保

事業名	場所	開催日	件数
案内看板の広告	実篤記念館東ロータリー側	平成27年4月1日～28年3月31日	2件

ウ 自主事業

事業名	講師ほか	開催日	会場	参加者(人)
三浦綾子記念文学館全国文学館交流展「武者小路実篤の世界」展示企画	財団職員	平成27年6月18日～11月19日	三浦綾子記念文学館（旭川市）	入館者 8,081
開館30周年式典	協力：桐朋学園大学音楽学部, 調布市茶道連盟	平成27年10月26日	実篤記念館	76
観梅のつどい 第一部コンサート	桐朋学園大学音楽学部学生・卒業生	平成28年2月28日	実篤記念館	41
公開ワークショップ「朗読で感じる実篤」	河崎早春	平成28年3月15日	せんがわ劇場	38 (ワークショップ13/見学25)

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

事業名	期間	利用者数等	備考
実篤記念館施設管理運営業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日	利用者総数 9,956人	開館日数 298日

イ 実篤公園日常管理

事業名	期間	利用者数等	備考
実篤公園日常管理業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日	利用者総数 27,193人	開園日数 308日
旧実篤邸公開業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日	利用者総数 5,113人	公開日数 103日

3 平成27年度調布市武者小路実篤記念館利用状況

実篤記念館利用者数（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

記念館開館日数 298 日
 公園開園日数 308 日
 旧邸公開日数 103 日

月	記念館										小計	公園		小計	合計	旧邸公開日
	大人					子ども						大人計	子ども計			
	有料一般	有料割引	65才以上	その他	ぐるっとバス	計	有料一般	有料割引	その他	計						
4	223	67	41	193	24	548	10	0	27	37	585	1,837	654	2,491	3,076	399
5	838	4	61	200	122	1,225	23	0	45	68	1,293	2,666	708	3,374	4,667	922
6	440	47	44	97	62	690	4	5	20	29	719	1,893	482	2,375	3,094	401
小計	1,501	118	146	490	208	2,463	37	5	92	134	2,597	6,396	1,844	8,240	10,837	1,722
7	360	21	64	114	54	613	21	0	21	42	655	1,296	290	1,586	2,241	257
8	491	4	26	132	58	711	153	0	154	307	1,018	983	392	1,375	2,393	261
9	499	32	68	196	86	881	12	0	60	72	953	2,008	458	2,466	3,419	636
小計	1,350	57	158	442	198	2,205	186	0	235	421	2,626	4,287	1,140	5,427	8,053	1,154
10	473	36	104	216	100	929	8	0	34	42	971	1,714	553	2,267	3,238	459
11	497	11	55	160	72	795	15	0	53	68	863	1,972	618	2,590	3,453	493
12	290	25	40	140	48	543	21	0	22	43	586	1,383	634	2,017	2,603	310
小計	1,260	72	199	516	220	2,267	44	0	109	153	2,420	5,069	1,805	6,874	9,294	1,262
1	260	40	45	205	31	581	7	0	112	119	700	1,228	479	1,707	2,407	261
2	465	4	70	231	59	829	7	0	33	40	869	1,820	623	2,443	3,312	405
3	320	16	63	153	50	602	15	0	127	142	744	1,816	686	2,502	3,246	309
小計	1,045	60	178	589	140	2,012	29	0	272	301	2,313	4,864	1,788	6,652	8,965	975
合計	5,156	307	681	2,037	766	8,947	296	5	708	1,009	9,956	20,616	6,577	27,193	37,149	5,113
前年度合計(人)	4,979	437	767	1,710	607	8,500	320	0	631	951	9,451	18,889	6,045	24,934	34,385	5,020
増減(人)	177	△130	△86	327	159	447	△24	5	77	58	505	1,727	532	2,259	2,764	93
前年度比(%)	3.6	△29.7	△11.2	19.1	26.2	5.3	△7.5		12.2	6.1	5.3	9.1	8.8	9.1	8.0	1.9

4 役員・会議に関する事項

(1) 役員名簿（平成28年3月31日現在）

ア 理事及び監事

役員名	氏名
理事長	福田 宏
常務理事	塚越 博道
理事	宇津木 光次郎
理事	柏原 公毅
理事	安本 登喜子
理事	濱嶋 稔
監事	新井 七吾
監事	市瀬 秀

イ 評議員

氏名
武者小路 知行
浅井 京子
瀧田 浩
小西 聡
新井 富一

(2) 会議の開催

ア 理事会

開催年月日	件名	議決結果
平成27年5月8日 (金)	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する理事候補者について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定時評議員会に提出する監事候補者について	可決
	・平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認について	承認
	・平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書の承認について	承認
	・調布市議会への経営状況報告について	報告
平成27年5月8日 (金)	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長の選定について	可決
平成28年2月9日 (火)	・平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算（第1号）について	承認
	・調布市武者小路実篤記念館開館30周年記念事業について	報告
	・ミュージアム・アドバイザーによる中間報告について	報告
	・マイナンバー制度における特定個人情報の取り扱いについて	報告
平成28年3月29日 (火)	・調布市武者小路実篤記念館の平成28年度空調改修工事に伴う休館について	報告
	・平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について	承認
	・平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について	承認

イ 評議員会

開催年月日	件名	議決結果
平成27年5月8日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について ・ 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館監事の選任について ・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認について ・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書の承認について ・ 調布市議会への経営状況報告について 	<ul style="list-style-type: none"> 可決 可決 可決 承認 承認 報告
平成28年2月9日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算（第1号）について ・ 調布市武者小路実篤記念館開館30周年記念事業について ・ ミュージアム・アドバイザーによる中間報告について ・ マイナンバー制度における特定個人情報の取り扱いについて ・ 調布市武者小路実篤記念館の平成28年度空調改修工事に伴う休館について 	<ul style="list-style-type: none"> 可決 報告 報告 報告 報告
平成28年3月29日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館役員等の報酬等及び費用支給の基準に関する規則の一部改正する規則について ・ 平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について ・ 平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について 	<ul style="list-style-type: none"> 可決 可決 報告 報告

平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収 支 計 算 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

1 一般会計

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	基本財産運用収入	0	0	0	
	1 基本財産運用収入	0	0	0	
2	補助金等収入	74,216,000	74,216,000	0	
	1 人件費補助金収入	64,567,000	64,567,000	0	
	2 事務費補助金収入	9,649,000	9,649,000	0	
3	指定管理料収入	27,382,000	27,382,000	0	
	1 指定管理料	27,382,000	27,382,000	0	
4	受託事業収入	5,566,000	5,566,000	0	
	1 受託事業（実篤公園日常管理）	5,566,000	5,566,000	0	
5	利用料金収入	1,400,000	1,190,190	209,810	
	1 利用料	1,350,000	1,098,750	251,250	
	2 頒布料	50,000	91,440	△ 41,440	
6	諸収入	1,001,000	433,357	567,643	
	1 事業参加費	100,000	91,940	8,060	
	2 友の会会費	100,000	88,000	12,000	
	3 雑収入	150,000	244,221	△ 94,221	
	4 利子収入	1,000	9,196	△ 8,196	
	5 繰入金	650,000	0	650,000	
事業活動収入計（A）		109,565,000	108,787,547	777,453	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	管理費支出	74,216,000	69,203,389	5,012,611	
	1 人件費支出	64,567,000	59,864,139	4,702,861	
	職員給料	21,577,000	20,750,400	826,600	
	職員諸手当	15,006,000	13,585,731	1,420,269	
	嘱託報酬	9,736,000	9,336,254	399,746	
	臨時職員給料	7,136,000	6,760,800	375,200	
	臨時職員諸手当	401,000	236,304	164,696	
	社会保険料支出	8,881,000	7,374,039	1,506,961	
	福利厚生費	84,000	75,474	8,526	
	負担金	1,444,000	1,443,500	500	
	旅費	302,000	301,637	363	

2	事務費支出	9,649,000	9,339,250	309,750	
	報酬	1,020,000	1,020,000	0	
	交際費	40,000	29,000	11,000	
	需用費	1,098,000	1,079,657	18,343	
	食糧費	0	0	0	
	役務費	1,816,000	1,766,879	49,121	
	委託料	2,224,000	2,223,286	714	
	使用料及び賃借料	2,433,000	2,360,547	72,453	
	負担金	282,000	128,000	154,000	
	資料購入費	352,000	348,836	3,164	
	公租公課	314,000	313,045	955	
	繰出金	70,000	70,000	0	
2	事業費支出	17,441,000	16,644,708	796,292	
1	普及促進事業費支出	11,523,000	10,887,832	635,168	
	報償費	725,000	720,517	4,483	
	一般需用費	4,094,000	3,535,646	558,354	
	役務費	3,219,000	3,214,982	4,018	
	委託料	3,215,000	3,150,492	64,508	
	使用料及び賃借料	270,000	266,195	3,805	
2	資料管理事業費支出	1,638,000	1,568,960	69,040	
	一般需用費	581,000	570,542	10,458	
	役務費	15,000	2,057	12,943	
	委託料	1,042,000	996,361	45,639	
3	情報提供システム事業費支出	4,280,000	4,187,916	92,084	
	一般需用費	0	0	0	
	委託料	1,220,000	1,164,240	55,760	
	使用料及び賃借料	3,060,000	3,023,676	36,324	
3	施設管理費支出	17,858,000	17,729,718	128,282	
1	施設管理運営事業費	12,292,000	12,172,466	119,534	
	需用費	5,963,000	5,934,818	28,182	
	役務費	187,000	160,060	26,940	
	委託料	5,609,000	5,548,652	60,348	
	使用料及び賃借料	533,000	528,936	4,064	
2	実篤公園管理事業費	5,566,000	5,557,252	8,748	
	委託料	5,566,000	5,557,252	8,748	
	事業活動支出計 (B)	109,515,000	103,577,815	5,937,185	
	事業活動収支差額 (C) 《(A)-(B)》	50,000	5,209,732	△ 5,159,732	

II 投資活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	

2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額 (D)	0	0	0	

Ⅲ 財務活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
2	財務活動支出	0	5,209,732	△ 5,209,732	
	1 返還金	0	5,209,732	△ 5,209,732	
	財務活動収支差額 (E)	0	△ 5,209,732	5,209,732	

Ⅳ 予備費支出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	予備費支出 (F)	50,000	0	50,000	

当期収支差額 (C+D+E-F)	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

2 特別会計

Ⅰ 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	自主事業収入	5,476,000	5,560,830	△ 84,830	
	1 自主事業収入	30,000	3,250	26,750	
	2 物品販売事業収入	4,500,000	5,128,953	△ 628,953	
	3 諸収入	445,000	428,363	16,637	
	4 利子収入	1,000	264	736	
	5 繰入金	500,000	0	500,000	
	事業活動収入計 (A)	5,476,000	5,560,830	△ 84,830	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	自主事業費支出	5,476,000	4,957,814	518,186	
	1 積立金支出	10,000	0	10,000	
	2 物品販売事業費支出	4,306,000	4,032,338	273,662	
	消費品費	155,000	121,986	33,014	
	商品仕入費	3,369,000	3,275,476	93,524	

著作権使用料	150,000	134,743	15,257	
役務費	121,000	80,986	40,014	
委託料	80,000	0	80,000	
広告宣伝費	120,000	108,384	11,616	
公租公課	311,000	310,763	237	
3 自主事業費	1,160,000	925,476	234,524	
事業活動支出計(B)	5,476,000	4,957,814	518,186	
事業活動収支差額(C) 《(A)-(B)》	0	603,016	△ 603,016	

II 投資活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
2	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額(D)	0	0	0	

III 財務活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
2	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額(E)	0	0	0	

IV 予備費支出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	予備費支出(F)	0	0	0	

当期収支差額(G) 《C+D+E-F》	0	603,016	△ 603,016	
前期繰越収支差額(H)	0	2,044,013	△ 2,044,013	
次期繰越収支差額(G+H)	0	2,647,029	△ 2,647,029	

平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
正味財産増減計算書
 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

事業全体

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
1 経常収益			
基本財産運用益	0	7,278	△ 7,278
基本財産運用収入	0	7,278	△ 7,278
補助金等	74,216,000	73,151,000	1,065,000
人件費補助金収入	64,567,000	63,391,000	1,176,000
事務費補助金収入	9,649,000	9,760,000	△ 111,000
指定管理料	27,382,000	24,744,000	2,638,000
指定管理料	27,382,000	24,744,000	2,638,000
受託事業収入	5,566,000	5,566,000	0
受託事業（実篤公園日常管理）	5,566,000	5,566,000	0
利用料金収入	1,190,190	1,213,562	△ 23,372
利用料	1,098,750	1,167,500	△ 68,750
頒布料	91,440	46,062	45,378
諸収入	433,357	5,355,865	△ 4,922,508
事業参加費	91,940	113,070	△ 21,130
友の会会費	88,000	110,500	△ 22,500
雑収入	244,221	422,527	△ 178,306
利子収入	9,196	0	9,196
繰入金	0	4,709,768	△ 4,709,768
自主事業収入	5,560,830	4,894,857	665,973
自主事業収入	3,250	0	3,250
物品販売事業収入	5,128,953	4,435,198	693,755
諸収入	428,363	459,428	△ 31,065
利子収入	264	231	33
繰入金	0	0	0
経常収益計（A）	114,348,377	114,932,562	△ 584,185
2 経常費用			
管理費	69,203,389	75,631,491	△ 6,428,102
人件費	59,864,139	62,253,634	△ 2,389,495
職員給料	20,750,400	20,761,200	△ 10,800
職員諸手当	13,585,731	14,837,446	△ 1,251,715
嘱託報酬	9,336,254	11,442,765	△ 2,106,511
臨時職員給料	6,760,800	6,015,225	745,575
臨時職員諸手当	236,304	250,374	△ 14,070
社会保険料支出	7,374,039	7,670,684	△ 296,645
福利厚生費	75,474	73,785	1,689
負担金	1,443,500	1,083,500	360,000

旅費	301,637	118,655	182,982
事務費	9,339,250	13,377,857	△ 4,038,607
報酬	1,020,000	795,000	225,000
交際費	29,000	13,747	15,253
需要費	1,079,657	1,399,867	△ 320,210
食糧費	0	6,876	△ 6,876
役務費	1,766,879	1,552,928	213,951
委託料	2,223,286	2,061,228	162,058
使用料及び賃借料	2,360,547	2,142,900	217,647
負担金	128,000	240,000	△ 112,000
資料購入費	348,836	368,721	△ 19,885
公租公課	313,045	16,822	296,223
繰出金	70,000	4,779,768	△ 4,709,768
事業費	16,644,708	16,273,170	371,538
普及促進事業費	10,887,832	10,473,646	414,186
報償費	720,517	347,511	373,006
一般需用費	3,535,646	3,805,358	△ 269,712
役務費	3,214,982	2,222,620	992,362
委託料	3,150,492	4,007,624	△ 857,132
使用料及び賃借料	266,195	90,533	175,662
資料管理事業費	1,568,960	1,568,231	729
一般需用費	570,542	575,658	△ 5,116
役務費	2,057	1,543	514
委託料	996,361	991,030	5,331
情報提供システム事業費	4,187,916	4,231,293	△ 43,377
一般需用費	0	11,280	△ 11,280
委託料	1,164,240	1,196,640	△ 32,400
使用料及び賃借料	3,023,676	3,023,373	303
施設管理費	17,729,718	15,172,966	2,556,752
施設管理運営事業費	12,172,466	9,647,974	2,524,492
需用費	5,934,818	5,383,105	551,713
役務費	160,060	167,407	△ 7,347
委託料	5,548,652	3,568,526	1,980,126
使用料及び賃借料	528,936	528,936	0
実篤公園管理事業費	5,557,252	5,524,992	32,260
委託料	5,557,252	5,524,992	32,260
自主事業費	4,957,814	3,952,186	1,005,628
積立金	0	0	0
物品販売事業費	4,032,338	3,540,463	491,875
消耗品費	121,986	100,649	21,337
商品仕入費	3,275,476	2,857,665	417,811
著作権使用料	134,743	80,483	54,260
役務費	80,986	65,893	15,093
委託料	0	0	0
広告宣伝費	108,384	88,328	20,056
公租公課	310,763	347,445	△ 36,682

	自主事業費	925,476	411,723	513,753
	経常費用計 (B)	108,535,629	111,029,813	△ 2,494,184
	評価損益等調整前当期経常増減額	5,812,748	3,902,749	1,909,999
	評価損益等計	0	0	0
	当期経常増減額 (C) 《(A)-(B)》	5,812,748	3,902,749	1,909,999
2	経常外増減の部			
	1 経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
	2 経常外費用			
	その他経常外費用	0	0	0
	予備費	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	返還金	△ 5,209,732	△ 2,960,078	△ 2,249,654
	当期一般正味財産増減額	603,016	942,671	△ 339,655
	一般正味財産期首残高	2,044,013	1,101,342	942,671
	一般正味財産期末残高 (D)	2,647,029	2,044,013	603,016
II	指定正味財産増減の部			
	1 寄付金	70,000	4,779,768	△ 4,709,768
	寄付金	70,000	4,779,768	△ 4,709,768
	当期指定正味財産増減額	70,000	4,779,768	△ 4,709,768
	指定正味財産期首残高	4,779,768	0	4,779,768
	指定正味財産期末残高 (E)	4,849,768	4,779,768	70,000
III	基本金増減の部			
	当期基本金増減額	0	0	0
	基本金期首残高	3,000,000	3,000,000	0
	基本金期末残高 (F)	3,000,000	3,000,000	0
IV	正味財産期末残高 (G) 《(D)+(E)+(F)》	10,496,797	9,823,781	673,016

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
1 現金預金	21,581,254	21,113,897	467,357
小口現金	158,799	120,014	38,785
普通預金	16,711,810	16,284,115	427,695
定期預金	4,710,645	4,709,768	877
2 未収金	583,276	670,529	△ 87,253
3 商品	924,473	915,744	8,729
流動資産合計	23,089,003	22,700,170	388,833
2 固定資産			
1 基本財産			
投資有価証券	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
2 その他固定資産			
リース資産	8,295,614	10,806,453	△ 2,510,839
その他固定資産合計	8,295,614	10,806,453	△ 2,510,839
固定資産合計	11,295,614	13,806,453	△ 2,510,839
資産合計	34,384,617	36,506,623	△ 2,122,006
II 負債の部			
1 流動負債			
1 未払費用	14,446,546	12,139,025	2,307,521
2 預り金	543,760	3,389,964	△ 2,846,204
3 未払消費税等	355,100	0	355,100
4 未払法人税等	246,800	347,400	△ 100,600
5 リース債務	8,295,614	10,806,453	△ 2,510,839
流動負債合計	23,887,820	26,682,842	△ 2,795,022
負債合計	23,887,820	26,682,842	△ 2,795,022
III 正味財産の部			
1 基本金			
1 基本金	3,000,000	3,000,000	0
2 指定正味財産			
1 寄付金	4,849,768	4,779,768	70,000
指定正味財産合計	4,849,768	4,779,768	70,000
3 一般正味財産			
1 代替基本金	0	0	0
2 その他一般正味財産	2,647,029	2,044,013	603,016
一般正味財産合計	2,647,029	2,044,013	603,016
正味財産合計	10,496,797	9,823,781	673,016
負債及び正味財産合計	34,384,617	36,506,623	△ 2,122,006

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科目	目的等	金額	
I 資産の部			
1 流動資産			
1 現金預金		21,581,254	
小口現金		158,799	
普通預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	14,887,781	
	みずほ銀行調布仙川支店	1,824,029	
定期預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	4,710,645	
2 未収金		583,276	
3 商品		924,473	
流動資産合計 (A)			23,089,003
2 固定資産			
1 基本財産			
投資有価証券	SMBC日興証券(株) 平成24年度兵庫県市町共同公募債	3,000,000	
2 その他固定資産			
リース資産	業務用PC、コピー機等	8,295,614	
固定資産合計 (B)			11,295,614
資産合計 (C) 《 (A) + (B) 》			34,384,617
II 負債の部			
1 流動負債			
1 未払費用		14,446,546	
	管理費支出18件	2,424,526	
	事業費支出36件	5,297,476	
	施設管理費支出36件	1,297,221	
	自主事業費支出4件	217,591	
	市への返還金	5,209,732	
2 預り金		543,760	
	社会保険料 3月分	543,760	
3 未払消費税等		355,100	
4 未払法人税等		246,800	
5 リース債務		8,295,614	
	事業用PC、コピー機等	8,295,614	
流動負債合計 (D)			23,887,820
負債合計 (E)			23,887,820
正味財産合計 (F) 《 (C) - (E) 》			10,496,797

平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法によっている。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

監査報告書

平成28年4月21日

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

理事長 福田 宏 様

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

監事 新井 七 吾

監事 市瀬 秀

私たちは、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第26条及び関連法令に基づき、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における業務監査及び会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの適正性を確認した。
- (2) 業務監査について、理事会等に出席し、運営状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を確認した。

2 監査意見

- (1) 事業報告は妥当であり貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準及び関係法令並びに、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款及び会計規程に従い、法人の財産及び収支の状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当財団が別途保管しております。

1 はじめに

調布市武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、昭和51年4月に武者小路実篤が死去した後、武者小路家より寄贈された愛蔵の美術品、遺品、図書等を基にして、文学、美術、演劇、思想など幅広い分野にわたり活躍した武者小路実篤の生涯を偲ぶとともに、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という設立理念を掲げ、武者小路実篤生誕100年に当たる昭和60年10月に、調布市実篤公園（旧実篤邸を含む。以下「実篤公園」という。）に隣接する地に開館しました。

展示、普及活動をはじめ、資料整理、保存、調査、研究活動等の事業活動をとおして、広く全国各地から多くの方々が来館され、小規模な博物館施設ながらも充実した事業内容で、開館以来30年間各方面から高い評価をいただいております。

平成28年度は、開館30年を超え老朽化が顕著となる施設・設備のうち、空調設備の大規模な改修工事が予定され、長期の休館が余儀なくされます。この機会に普段対応が難しい地域をはじめ、館外での活動を活発にし、より広く多くの方々に武者小路実篤の活動と実篤記念館の魅力を知り、体験してもらう事業を展開します。

また、工事期間中には所蔵作品・資料を良好な状態に保存するために、移動・保管作業を実施し、所蔵品の総点検、作品・資料の整理・保存作業を重点的に進めます。こうした、施設・設備の改修、館外での活動や実篤記念館の事業の基本となる所蔵品の整理・保存作業をとおして、開館から30年が経過した今、新たな時代に向けた事業展開の準備の年としてまいります。引き続き、市民が広く誇り得る文化の拠点の一つとして、身近で、親しみのある教育、文化、芸術の場となるように努め、今後も良質で魅力ある事業を展開してまいります。

実篤記念館の設立理念に基づき、事業の円滑化、効率化及び継続性を図るために「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館」（以下「財団」という。）が平成25年4月に設立されてから4年目となります。また、平成26年4月からは事業運営と施設の管理運営を一体的に担う指定管理者制度が導入され、当財団が指定管理者となり、更に、実篤公園の日常管理を調布市緑と公園課より受託し3年目となります。引き続き利用者の立場に立った運営に心がけ、施設の維持管理をとおして安全で快適な環境を整え、実篤記念館と実篤公園を効率的かつ柔軟に管理運営することにより、更なる市民サービスの向上を図ってまいります。

財団は、行政を補完する公益的な法人としての責務を果たし、より安定性及び継続性のある効率的な管理・運営体制を構築するために、次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を定めて積極的に事業展開をしてまいります。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年6回の展示事業、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもたちへのアプローチと利用の拡大

学校教育において活用しやすい環境を整えるなど、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園と一体となった事業展開や動線の改善など、相乗的な魅力の向上を図ります。

5 改修工事に伴う休館時の対応

休館期間を利用し、他の自治体や他の施設と連携して館外での活動を展開します。

また、期間中、所蔵資料・作品を良好な状態で保存するために、作品・資料の移動、保管作業を実施します。

<組織・運営目標>

1 安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業について、継続性をもって実行します。

3 安定した法人運営を行うために、職員の人材育成を促進します。

4 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、すべての市民が利用できる施設として、来館者一人一人が満足していただけるサービスを提供します。

5 実篤記念館の事業の基本となる所蔵品の整理、保存作業及び他の自治体等との連携をとおして、実篤記念館の新たな時代に向けた取組を進めます。

2 基本方針

(1) 事業運営の基本方針

2年間の指定管理者経験を活かすとともに、財団が培ってきた経験と実績、信頼を最大限に発揮し、実篤記念館の設立理念を効果的に達成していくため、魅力ある事業展開と施設の機能を十分活かした運営を行います。また、利用者が安全で安心して快適に利用できる施設であり続けられるように、指定管理業務を実施してまいります。

また、利用者のニーズを的確に把握して、専門性を活かしたサービスを提供し、より高い満足度を得ることでリピーター及び新規利用者の獲得につなげてまいります。

更に、職員のスキル向上を図りながら、利用者に満足していただけるよう展示事業を柱に各種事業を展開してまいります。

なお、長期にわたる休館期間には、調布市と姉妹都市である木島平村と連携した展覧会を、木島平村の施設を活用して開催いたします。

(2) 法人運営の基本方針

安心して利用できる施設として、利用料金をはじめとする事業収入の安定確保に努めるとともに、利用者へのサービスと事業の質が低下することがないよう、効率的・効果的な事業運営を行うことで、経費の抑制に努めてまいります。

また、指定管理者として実篤記念館を運営するに当たり、経営努力により生み出された費用を、実篤記念館の展示事業をはじめとする基幹事業に活用することにより、市民及び利用者へ還元し、

満足度を高めてまいります。

更に、法人経営を遂行するための人材育成については、受付やレファレンスをはじめ職員一人一人のスキルアップを図るとともに、専門分野となる事業、施設管理、法人会計等の研修等に積極的に参加し、業務の資質向上が図れるよう職員の育成に努めます。

3 実施方針

(1) 事業の運営に関する業務

当財団では、実篤記念館を拠点として、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与する」という設置目的を達成し、また、市民の誇れる文化施設として地域の魅力向上に貢献するために、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を展開し、利用の促進を図ります。

平成28年度は施設の空調改修工事に伴い、長期の休館を余儀なくされますが、姉妹都市木島平村と連携した交流展の開催及び調布市文化会館たづくりで移動展を開催するなど、館外での展覧会及び普及事業を展開し、武者小路実篤の活動や魅力を広く周知し、認知度を高めていきます。

また、多摩川流域自治体交流「イベントラリー」に参加し、自治体間連携を深めながら広く情報発信する機会とするとともに、新たな実篤ファンづくりに努めます。

実篤記念館では、武者小路実篤の文学、美術、演劇並びに新しき村と、幅広い分野にわたる活動及び日本近代文学・美術を代表する作家や画家たちとの交流など、多面的な魅力を存分に発揮するように様々な事業を企画してまいります。このように、事業全般にわたり「敷居は低く（気軽に参加）、間口は広く（幅広いジャンルからのアプローチ）、奥行きは深く（専門的な内容にも対応）」を指針として、「何度でも行きたくなる実篤記念館」を目指し、リピーターの獲得と積極的な広報活動により認知度を高め、新規利用者の開拓を図りながら、良質な事業の提供に取り組んでまいります。

貴重な財産を後世に継承するために、事業の根幹となる資料収集と、収集した貴重な資料を良好な状態で管理するために不可欠な整理・保存事業を進めるとともに、収蔵品データベースの充実を図り、広く資料情報の公開に努めます。平成28年度の空調工事では、貴重な財産を保存していくために、所蔵作品の移動、保管作業を進めてまいります。

調査・研究事業では、新たな事業展開の準備として、「新しき村創立100年（平成30年）」に向けた調査・研究を進め、また、実篤コレクションの民芸作品の調査などを展開します。

また、引き続き、武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

武者小路実篤が作品をとおして広く伝えてきた「個性を生かし、互いを認めあう」ことは普遍的なものであり、現代においても重要なメッセージとして多くの人々に共感を呼ぶものです。時代を超えた実篤の多くのメッセージを若い世代に伝えるため、学校との連携事業や夏休み企画などの事業で工夫を重ねて紹介し、体験や身近に感じる機会を増やしていくことで未来の来館者を育成してまいります。

これらは、当財団が30年間にわたり培ってきた専門的な知識、経験と実績のほか、武者小路家をはじめとした関係者（機関）の信頼と協力をもとに進めることができ、今後も各方面から当財団に寄せられる信頼に応えるように事業運営をしてまいります。

(2) 施設の運営に関する業務

実篤記念館の運営に当たっては、地方自治法、調布市武者小路実篤記念館条例（以下「条例」という。）、調布市武者小路実篤記念館条例施行規則（以下「施行規則」という。）等の法令を遵守し、合理的かつ効果的な運営を行ってまいります。実篤記念館が「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえて、高齢者や障害のある方、子ども等が安全で安心して快適に利用し、利用者が公平かつ平等に利用できるように努めます。

アンケート等により利用者のニーズを把握するとともに、ニーズへの的確な対応を図り、事業や施設の管理運営、利用者の満足度アップや利用促進に反映してまいります。また、市が実施予定の指定管理者に関する第三者的視点からの評価の仕組みづくりを踏まえつつ、利用者の満足度を一層充実させるために、昨年度に続いてミュージアムアドバイザーからの提案を参考にして、施設及び事業運営の向上を目指します。

実篤記念館の所蔵作品・資料は、後世に残す貴重な財産であり、適切な整理・保存管理を進めるとともに、展示や普及活動での活用をはじめ、データベースやホームページで所蔵情報を広く公開することにより、他の美術館・文学館等での展示、研究にも活用が広がるように促進してまいります。

平成28年度は、空調改修工事に伴う休館や、姉妹都市木島平村での交流展や調布市文化会館たづくりでの移動展など、普及事業を様々な手法で実施することから、情報提供についてもホームページや市報に限らず、あらゆる媒体やメディアを活用して情報発信を行い、利用者の利便性を図ってまいります。

(3) 施設の管理と整備に関する業務

実篤記念館は、芸術鑑賞施設であることから、子どもから高齢者まで様々な利用者が訪れるため、安全で快適な、環境に配慮した施設管理運営に取組み、施設機能を十分に発揮した事業活動が円滑に展開できる環境づくりに努めます。

実篤記念館の維持管理業務に当たっては、施設の維持保全及び人命の尊重に十分注意を払い、調布市武者小路実篤記念館指定管理業務仕様書に示された水準に従い、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

また、実篤記念館の施設・設備については、平成28年度には空調改修工事が実施されることから、市の担当部署との連携を図り、工事が順調に進行するように取り組んでまいります。

更に、開館から30年を経て、施設・設備の経年劣化による修繕や改修工事が必要なケースが多く発生してきています。このため、利用者の安全性や快適性、必要な収蔵環境を維持するために、維持管理修繕に努めてまいります。

実篤記念館の案内サインについては、公共サイン調査で得られた情報から、引き続き、優先順位を付けて調布市公共サイン整備ガイドラインに基づき改修及び増設を計画的に進め、利用者に分かりやすい適切な案内サインにするように心掛けてまいります。

緑と公園課より平成26年度から受託した実篤公園の日常管理を引き続き担ってまいります。

実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然を残しており、また、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者に関心を持つ施設です。実篤記念館と実篤公園・旧実篤邸が相乗し合うことで、より一層の魅力を高めていきます。

4 平成28年度重点事業

平成28年度は、開館30年を超え老朽化が顕著となる施設・設備のうち、空調設備の大規模な改修工事が実施されることから、展示・普及事業、資料管理事業、施設管理事業と全ての事業にわたり、改修工事を視野に入れた上での事業展開となります。

開館以来、実篤記念館が進めてきた展示、普及、収集、調査研究等の事業をとおして得られた作品、資料及び情報、そして、武者小路家をはじめ関係者及び関係機関との協力をとおして信頼を深めてきた有形、無形の財産を活用した事業を引き続き推進してまいります。

展示・普及事業では、工事期間の休館を利用し、姉妹都市木島平村と連携して行う交流展及び調布市文化会館たづくりでの移動展をはじめ、館外での普及活動を行うことにより、実篤記念館の展覧会を見る機会が少ない方や、また、実篤記念館に足を運んだことのない方々に対して実篤記念館を周知し、実篤の魅力を伝える機会とします。

また、姉妹都市木島平村での交流展を新たな文化交流事業と位置づけ、文化振興課と共催で「内山和紙で実篤に挑戦in木島平」ツアー（仮称）を開催します。

更に、多摩川流域自治体交流「イベントラリー」に参加し、自治体間連携を深めながら広く情報発信するとともに、実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とするなど、調布市の関係部署や他の市区町村との連携をとおして、より広く実篤記念館の事業活動の普及に努め、認知度を高めます。

資料収集・管理事業では、空調工事期間中に貴重な作品・資料を良好な状態で保存するため、他施設への移動、保管作業を重点的に実施します。また、この機会をとらえて、所蔵品の総点検及び未整理資料の整理作業を進め、データベース未登録資料等の確認、データ登録作業等に集中的に取り組めます。

調査・研究事業では、平成30年に創立100周年を迎える「新しき村」について、現在の活動や関係資料の悉皆調査、関係者への聞き取調査を行い、「新しき村100年展」の準備を進めてまいります。また、日本民藝館の協力を得て実篤の愛蔵美術品コレクションのうち、民藝品の調査を実施し、今後の共催展覧会等の開催へとつなげてまいります。

施設管理事業では、施設・設備の経年劣化による各種の不具合が発生しているため、利用者の安全性、快適性を維持するとともに、所蔵している武者小路実篤関連の資料や作品を、永く後世に伝えて行くための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態のもとで鑑賞できるように、施設・設備の日常管理に努めます。

平成28年度は、収蔵庫の二酸化炭素消火設備のガス弁の取換えを3箇年計画の1年目として実施するのをはじめ、隔年の収蔵庫や展示室の環境調査を実施し、また、利用者に分かりやすい案内サインの改修や増設に引き続き取り組めます。

このように、平成27年度に開館30周年を迎えた実篤記念館は、空調設備の改修、それに伴う館外で実施される展覧会や普及事業、基本となる所蔵品の整理・保存作業、更に市内外の関連部署や機関との協力事業をとおして、新たな時代に向けた事業展開の準備を進める年とします。

また、大規模な改修期間は、職員のスキルアップや設備管理への認識を高める機会ととらえ、各種研修に参加するなど職員の人材育成を図ります。

5 事業内容

(1) 展示事業

文学・美術・演劇・思想と幅広い武者小路実篤の活動を、実篤記念館では年間を通じて常設展示とせず、幅広い武者小路実篤の活動が分かりやすく理解されるよう多角的に紹介し、魅力ある展示事業を目指します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	展示事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくために多角的なテーマを設け、実篤記念館の充実した収蔵品を紹介し、いつでも新しい発見がある展示作りを目指します。</p> <p>関係機関、協力者等との協力を深めながら、春の特別展、5回の企画展等を開催します。</p> <p>また、空調工事にとまなう休館期間には、姉妹都市・木島平村での交流展および調布市文化会館たづくりでの移動展を開催し、より多くの方に武者小路実篤の活動や、実篤記念館のこれまで収集した作品・資料情報を広く周知、普及することで、認知度を高めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の特別展「偉人に学ぶ実篤の生き方 伝記ものの世界」 ・姉妹都市交流展(木島平村) ・移動展(文化会館たづくり展示室) ・企画展 5回 <p style="text-align: right;">*詳細は別紙のとおり</p>	3,686

(2) 普及事業

普及事業を通して武者小路実篤についてより理解を深め、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、「地域の人々が気軽に学ぶ場」を提供してまいります。

また、市民の誇りとなる「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を積極的に展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	講演会・講座等 事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 講演会をはじめ各種講座を開催し、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として、幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、</p>	1,523

		<p>また市民の誇りとなるような事業を展開します。</p> <p>空調工事にとまなう休館期間には、普段対応が難しい地域のほか、可能な限り積極的に記念館の外に出て行くことで新たな事業展開を進める機会とします。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流展を機会に交流事業として、文化振興課と共催で「内山和紙で実篤に挑戦in木島平」ツアー（仮称）を開催。 ・移動展期間中、武者小路実篤に親しむことのできる講演会等を開催。 ・多摩川流域自治体交流「イベントラリー」に参加し、広く情報発信をし、実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とする。 ・好評の読書講座、自然観察会、美術講座等の開催。 ・アンケート調査の実施により、受講者の開拓、事業内容の充実を図る。（通年） ・桐朋学園、東部公民館等の地域施設や地元仙川商店街等地域と連携した事業に取り組む。（通年） ・展覧会ごとに各2回の展示解説を開催する。（通年） ・文学散歩等のサークル活動、団体利用者に対する解説を実施する。（通年） ・他機関の事業活動に協力し、講師を務めるなどの機会をとおして、実篤や記念館事業の普及に努める。（通年） ・新しき村をテーマとした鑑賞のための映像作品を制作し映像視聴システム等で上映する。（通年） 	
2	<p>学校教育との連携事業 (指定管理事業)</p>	<p>【対象】 市内小・中学校</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報等の様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」、「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、武者小路実篤や実篤記念館に親しむ機会を増やし、様々な広報を通して、身近にある教育・文化施設としての認知度を高め、利用促進を図ります。</p> <p>事業を通して、子どもたちに多様な体験してもらい、幼い頃から芸術・文化に触れることにより、子どもたちの感性を磨き、自身で考える力、豊かな心の育成に努めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け解説シートの作成及び配布（新規3シート） 	600

		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み講座，夏休み自由研究サポートをさらに充実して開催。夏休みに子ども向けの自然観察会を開催し，新たなメニューとする。 ・「調べ学習」，「創作」，「芸術鑑賞」等のキッズプログラムの充実（通年） ・学校図書館へ，実篤関連資料や情報を提供する。（通年） ・学校での出張展示や出前講座を実施する。（通年） ・鑑賞教育，職場体験，訪問等の学校事業に協力する。（通年） ・中学生を夏休み事業にボランティアとして受入れ，事業のサポートを体験してもらう。 	
3	ボランティア事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 市民，地域との連携を図る協力ボランティアの活動は，現在，幅広い普及活動を展開するうえで大きな力となっており，充実した活動を進めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の充実を図るために，ステップアップ講座を開催。 ・ボランティアによるガイドや普及事業の実施（通年） ・ボランティアによる「実篤に挑戦！」の実施（5月，8月） ・普及事業，環境整備のサポート活動（通年） ・ボランティアの活動環境を整備（通年） 	205
4	友の会事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 友の会事業は，実篤記念館と来館者を結ぶものであり，会員の増強に努め，会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行します。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友の会ニュースの発行（年6回） 	100
5	広報事業 (指定管理事業)	<p>◎広報資料の作成，配布</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 実篤記念館事業について各方面に積極的な広報を実施し，財団の事業及び名称の認知度を高めます。</p> <p>【平成28年度】</p>	1,859

	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展ポスター及びチラシの作成，配布（年1回） ・移動展，交流展，空調工事にもなう休館にかかわる広報チラシ作成，配布（1回） ・展示案内の作成，配布（年1回） ・企画展，講座等のミニポスター等の作成，配布（通年） ・館報の編集，配布（年2回） ・市報等への情報提供（通年） ・報道機関への情報提供と各種取材への対応（通年） 	
	<p>◎印刷物編集・刊行事業</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 武者小路実篤の活動や所蔵資料を紹介する刊行物を編集及び刊行し，広く武者小路実篤への理解を深めます。 また，移動展，交流展に向けて，要望の多い実篤書画を集めた冊子を編集・刊行します。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展パンフレットを編集・刊行する。（年1回） ・移動展，交流展に向けた実篤画集(仮)を編集・刊行する。（年1回） 	1,258
	<p>◎ホームページ</p> <p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 ホームページを運用することにより，広く武者小路実篤や実篤記念館事業を広報し，より多くの人に武者小路実篤の魅力や事業活動を周知し，認知度を高めます。</p> <p>【平成28年度】 ホームページ内容の充実と迅速な情報提供に取組み，より多くの方々に事業や実篤関連情報，事業記録等を周知するようにホームページを運用する。 また，スマートフォンでの利用拡大に対応するとともに，調査・研究の成果を順次ホームページで公開する。 平成28年度は空調改修工事にもなう休館や，外部での姉妹都市交流展，移動展や普及事業が多く実施されることから，適時情報を提供し，利用者の利便性を図る。</p>	1,404
	<p>◎ぐるっとパス事業</p> <p>【対象】 市民</p>	150

	<p>【事業概要】</p> <p>「東京・ミュージアムぐるっとパス2016」事業を通して、実篤記念館の活動を周知し、広報の充実に取組ます。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会が主催する「東京・ミュージアムぐるっとパス2016」に参加して展覧会や事業の広報、普及に努める。</p> <p>(通年、ポスター・チラシ年2回発行)</p>	
--	--	--

(3) 資料収集・管理事業

所蔵資料の充実を図るための情報を集め、購入をはじめ収集に関わる業務を行い、また、美術品等の購入については市へ提案していくとともに、後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存環境の把握に努め、所蔵資料が事業全般で活用できるように積極的に取組ます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料収集・管理事業 (指定管理事業/ 助成事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>収集事業では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて関係資料を収集しており、財団は収集に関する各種情報を集め収集業務を担います。また、美術品等の購入については市へ提案します。</p> <p>管理事業では、「条例」、「施行規則」等を遵守し、資料の貸出し及び特別撮影等の申請受付、承認を行います。</p> <p>また、日常的に収蔵環境を把握し、適切な状態で収蔵するように努めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>(1) 収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書画，原稿，書簡，図書，雑誌，写真，映像音声資料，その他関連資料収集の情報を集め，市へ提案 ・図書，雑誌の購入作業を行い，市へ報告 ・寄贈，寄託受入手続きを行い，市へ報告 <p>(いずれも通年)</p> <p>(2) 資料管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な作品，資料の保存環境を管理し，環境整備が必要な場合は，市へ提案する。(通年) ・貴重な作品，資料のため動産保険加入手続き等を実施する。(通年) ・作品，資料の利用申請，承認手続き及び貸出・返却に伴 	1,625

	う作業を行う。(通年) ・作品、資料の特別撮影への対応を行う。(通年)	
--	--	--

(4) 資料整理・保存事業

収集した資料を整理し、データベースへの入力作業、後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存作業に努め、事業全般で活用できるように積極的に取組ます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料整理・保存事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 資料整理・保存事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進めます。 また、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努め、収蔵品をより活用できるように積極的に取組ます。</p> <p>平成28年度は空調設備の改修工事にともない、所蔵作品・資料の移動、保管作業を重点的に実施します。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>(1) 整理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料を整理し、状態把握に努め、良好に保存する。 ・収蔵品や関連資料の記録撮影、写真パネル等を整備する。 (通年) ・平成26年度に寄贈を受けた河野通勢関連作品・資料の整理、データ化を進める。(通年) <p>(2) 所蔵作品・資料等の修復、複製制作等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所蔵品資料の適切な保存管理を図るため、資料状態の把握と計画的な修復作業を実施する。(通年) ・実篤関連の貴重資料の複製を制作し活用する。(1作品制作) <p>(3) 収蔵品データベースの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実篤記念館が収蔵する作品・資料、武者小路実篤に関する情報の入力作業を進め、収蔵品データの充実を図るとともに、展覧会、レファレンス業務、収蔵品管理等に活用する。(通年) ・未整理収蔵資料をデータ化し、収蔵品情報の充実に努める。(通年) <p>(4) 空調改修工事にとまなう資料・作品の移動、保管作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事期間に所蔵資料・作品を良好な状態で保存す 	8,522

		<p>るために、資料・作品の移動と保管に係る作業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機会をとらえ、所蔵品の点検、未整理資料の整理作業を進め、データ登録作業等に積極的に取り組む。 <p>(通年)</p>	
--	--	--	--

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

所蔵資料の閲覧、武者小路実篤に関する問合せに対して調査回答するレファレンスサービスの向上と、情報提供システムの活用を通して、所蔵品や実篤に関する情報を広く公開してまいります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	閲覧サービス事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 武者小路実篤をはじめ、白樺、新しき村に関する資料や、近代文学・美術の図書を開架する閲覧室を中心に、資料の充実と活用の促進を図るとともに、更に実篤関連情報に関するレファレンス業務を行い、一層のサービス向上に努めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>(1) 一般閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室における、閲覧・レファレンス業務、開架図書の管理及び図書の紹介。(通年) ・展示室と閲覧室の休室が重なる日は、閲覧室を開室する。 <p>(2) 特別閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉架図書及び特別資料の閲覧・レファレンス業務(通年) 	65
2	情報公開事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が収集した作品、資料、文字、画像、映像、研究情報、記録データ等を活用し、これらを収録した情報提供システム(収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ)を運用し、多岐にわたる情報の公開に努め、利用の促進を図ります。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供システムの運用 <p>新たに収集した作品、資料、文字、画像、映像、研究情報記</p>	4,280

	録データ等の情報を，収蔵品データベースをはじめとした情報提供システムに追加・更新し公開する。 タッチパネル方式やタブレットPCへの対応など，多くの情報をより分かりやすく手軽に利用できるように取り組む。
--	---

(6) 調査・研究事業

広く開かれた「武者小路実篤，白樺，新しき村」の情報収集発信基地となるべく，調査・研究に取組み，その成果を事業全般にわたり活用を図ってまいります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	調査・研究事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 「武者小路実篤，白樺，新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担い，特別展関連及び収蔵資料の調査を実施します。 他の文学館，美術館や研究機関等の協力を得ながら，調査及び研究活動を進めることで，所蔵資料や関連資料の新たな情報を得て，作品・資料の利用価値を高めます。また，得た情報を事業に活用し順次公開していきます。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武者小路実篤コレクションのうち民芸品の調査（通年） ・新しき村創立100年(平成30年)に向けた調査・研究（通年） ・武者小路実篤の作品発表に関する情報収集，記録，作品リストの充実（通年） ・河野通勢関連，作品・資料の調査（通年） ・他の機関の研究・事業活動への協力（通年） ・調査，研究成果をホームページで順次公開（通年） 	200

(7) 自主事業

自主事業の中心となるミュージアムグッズの販売により，自主財源を増やして普及事業をサポートするとともに，武者小路実篤や実篤記念館の認知度アップを図ってまいります。

市からの指定管理，受託事業以外に自主財源を増やし，自主事業に取組み，より充実した事業を展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	物品販売事業 (自主事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】</p>	3,626

		<p>ミュージアムグッズ販売事業は、自主財源を増やすとともに、その収益を自主事業の充実や魅力あるミュージアムグッズづくりに充て、普及事業の更なる充実をサポートします。</p> <p>また、販売事業を通して、広く武者小路実篤や記念館事業を広報し、より多くの人に武者小路実篤や実篤記念館を周知し、認知度を高めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムグッズの販売 ・魅力あるミュージアムグッズの開発 ・販売事業を通して、実篤、記念館の認知度を高める。 	
2	自主事業 (自主事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>調布市の指定管理事業以外に自主財源を増やし、事業の充実を図るために、自主事業に取り組めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>(1) 広告料の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板下部の広告により、自主財源の確保を図る。 (通年) <p>(2) 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読会の開催 (年1回) 	640

(8) 施設管理運営事業

実篤記念館は「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえ、利用者の公平、平等性を確保するとともに、実篤記念館の設置目的を踏まえた適切な運営に努めます。

施設維持管理については、施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

また、実篤公園及び旧実篤邸の日常管理業務も行い、実篤記念館、実篤公園を一体的に管理することで、利用者がより快適に利用できるように努めます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	実篤記念館施設 管理運営業務 (指定管理事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>条例、施行規則に基づいて、利用者が公平かつ平等に利用できるように努めます。</p> <p>また、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理します。</p> <p>開館 30 年を超え、施設・設備の経年劣化による不具合も</p>	13,132

		<p>発生しているため、必要な修繕を実施します。</p> <p>利用者の安全性、快適性、更に所蔵している武者小路実篤関連の資料・作品を、永く後世に伝えて行くための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態のもとで鑑賞できるよう、中長期的な視点から施設の不具合等の必要な修繕について市に提案する準備を進めます。</p> <p>平成28年度は全館の空調改修工事が実施されることから、市の担当部署と連携を図り、工事が順調に進行するように積極的に取組めます。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>電気、空調設備等の施設及びこれに附帯する設備の操作、保守点検業務、維持管理保全や清掃、警備、施設設備の軽微な補修、施設運営の維持経費である公共料金の支払いを行います。（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が実施する空調改修工事へ積極的に協力（通年） ・収蔵庫消火設備の二酸化炭素消火ガス弁の取換え改修（3箇年の1年目） ・収蔵環境を守るため展示室、収蔵庫等の環境調査を実施（隔年、2回実施） ・特殊建築物定期調査を実施（3年に1回） ・要望が高い駅、バス停から実篤記念館までの案内板を改修、増設する。 	
2	<p>実篤公園日常管理業務 (受託事業)</p>	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然を残し、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ施設です。実篤記念館は、実篤公園と旧実篤邸の存在が相乗し合い、より一層の魅力を高めます。</p> <p>実篤公園及び園内の旧実篤邸の日常管理を行い、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理します。</p> <p>また、自然の保全、公園施設の補修、旧実篤邸の保存について、対応が必要な場合は緑と公園課へ提案します。</p> <p>【平成28年度】</p> <p>実篤公園の日常管理及び旧実篤邸の公開業務のほか、維持管理保全のため清掃、警備を行う。（通年）</p>	5,566

平成28年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会日程

<展覧会日程>

◎春の特別展「偉人に学ぶ実篤の生き方 伝記ものの世界」

会期：4月29日（金）～6月5日（日）

◎企画展「新しき村の生活」～人間らしく生きる～

会期：6月11日（土）～7月10日（日）

◎夏休み企画「知ってる？ 武者小路実篤」

会期：7月16日（土）～8月28日（日）

◎秋季展「実篤コレクション展」～一冊の僕の本のような美術館～

会期：9月3日（土）～10月2日（日）

◎企画展「本を装う，時代を映す」～版画と装幀・挿絵の世界～

会期：10月8日（土）～11月6日（日）
（予定）

◆空調改修工事に伴う休館 平成28年11月8日（火）～平成29年3月17日（金）（予定）◆

★姉妹都市交流展 「武者小路実篤のころ」（仮称）

会場：木島平村農村交流館

会期：10月29日（土）～11月27日（日）
（予定）

★移動展「人間萬歳 武者小路実篤の世界」（仮称）

会場：調布市文化会館たづくり展示室

会期：平成29年1月14日（土）～2月24日（金）

◎春季展「自然は美を愛す」～実篤書画展～

会期：平成29年3月18日（土）～4月23日（日）
（予定）

<平成28年度 休館日>

平成28年

4月4, 11, 18, 25日

5月2, 9, 16, 23, 30日

6月6, 13, 20, 27日

7月4, 11, 19, 25日

8月1, 8, 15, 22, 29日

9月5, 12, 20, 26日

10月3, 11, 17, 24, 31日

11月7日, 8日～平成29年3月17日 (予定) *空調改修工事のため, 全館休館

平成29年

3月21, 27日 (予定)

<平成28年度 展示室休室日>

平成28年

4月19, 20, 21, 22, 23, 24, 26, 27, 28日

6月7, 8, 9, 10日

7月12, 13, 14, 15日

8月30, 31日

9月1, 2日

10月4, 5, 6, 7日

11月8日～平成29年3月17日 (予定) *空調改修工事のため, 全館休館

<平成28年度 閲覧室休室日>

平成28年

4月7, 14日

5月12, 19, 25, 26日

6月2, 16, 23, 29, 30日

7月7, 21, 27, 28日

8月4, 18, 25日

9月8, 15, 28, 29日

10月13, 20, 26, 27日

11月8日～平成29年3月17日 (予定) *空調改修工事のため, 全館休館

平成29年

3月18～31日 (予定) *空調改修工事のため, 休室

<平成28年度 旧実篤邸公開日>

土・日曜日・祝日 11:00～15:00 (雨天の場合は中止)

平成28年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収 支 予 算 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(事業活動収入)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 当初予算額	増減	備 考
大	中				
1	補助金	75,134	74,216	918	
	1 人件費	65,205	64,567	638	
	2 事務費	9,929	9,649	280	
2	指定管理料	35,873	27,382	8,491	
	1 指定管理料	35,873	27,382	8,491	
3	受託事業収入	5,566	5,566	0	
	1 受託事業(実篤公園日常管理)	5,566	5,566	0	
4	利用料	750	1,400	△ 650	
	1 利用料	700	1,350	△ 650	
	2 頒布料	50	50	0	
5	諸収入	351	1,001	△ 650	
	1 事業参加費	100	100	0	
	2 友の会会費	100	100	0	
	3 雑収入	150	150	0	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	0	650	△ 650	
6	自主事業収入	4,276	5,476	△ 1,200	
	1 自主事業収入	30	30	0	
	2 物品販売事業収入	3,500	4,500	△ 1,000	
	3 諸収入	445	445	0	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	300	500	△ 200	
事業活動収入計 (A)		121,950	115,041	6,909	

(事業活動支出)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 当初予算額	増減	備 考
大	中				
1	管理費	75,134	74,216	918	
	1 人件費	65,205	64,567	638	
	2 事務費	9,929	9,649	280	
2	事業費	23,792	17,631	6,161	
	1 普及促進事業費	10,990	11,713	△ 723	
	2 資料管理事業費	8,522	1,638	6,884	
	3 情報提供システム事業費	4,280	4,280	0	
3	施設管理費	18,698	17,668	1,030	
	1 施設管理運営事業費	13,132	12,102	1,030	

	2 実篤公園管理事業費	5,566	5,566	0
4	自主事業費	4,276	5,476	△ 1,200
	1 積立金	10	10	0
	2 物品販売事業費	3,626	4,306	△ 680
	3 自主事業費	640	1,160	△ 520
5	予備費	50	50	0
	1 予備費	50	50	0
	事業活動支出計 (B)	121,950	115,041	6,909
	事業活動収支差額 (C) 《(A) - (B)》	0	0	0